

## はじめてのボランティア活動

9/22(日) 富津市にボランティアに行きました。長らく停電、断水の被害が続いた地域です。

台風17号の影響で天気が悪いのではないかと予想されましたが、非常に作業しやすい天候となりました。

富津市役所に到着し、設置された災害ボランティアセンターで作業の説明を受けました。



現地のセンターは、すでに多くの人が駆けつけていました。

屋根にブルーシートを掛けたり、近隣に聞き取り調査をしたり、ゴミを分別して片付けしたりと依頼される仕事は多岐に渡ります。

私たちはこの日、市内にお住まいのAさん宅の破損したビニールハウスや家屋を撤去し、ゴミを搬出するお仕事を依頼されました。



Aさん宅の被災の様子



ほい！ほい！ 早くしないと日が暮れるぞー  
持っている工具や、できる事によって頼まれる仕事が変わります。  
ボランティアはあくまで無理せず、自分ができるところを一生懸命に！  
といったところでしょうか



このゴミはここでいいのかな・・・？  
この日、北海道から来た高校生 2 人が参加していました。  
この災害に心を痛め何かしたいという思いで参加しているのだと感じました。



最後のお別れ これで解散です。

被災された家主さんが元気で明るい方であったのが救いでした。  
家主さんのこれからの生活を案じつつ、全面復旧を願い現場を後にしました。(K. H)

## 現地の様子



台風被害の象徴的なお宅



ブルーシートで養生したお宅。

作業させて頂いたAさん宅の近くで取材をしました。そこで地元の方のお話を伺いました。

「遠くから来てくれて本当にありがとう。この様なところもあるから覚えておいてね」と話してくれました。

市役所の対応についてどう思うか？と尋ねました。「被災しながらも良くやっている。本当に感謝だよ」とのことでした。

穏やかで優しい人が多い地域ではないかと思いました。

「県庁には非常用に使える発電機を沢山持っていたのでしょ？」と、後に知ったニュースで森田県知事に怒りをぶつける人がいました。

国や県は対応が遅かったなどと反省するのではなく、今からでも出来る事をやってほしい。総括は後にやるとして、今は必要なことを迅速に対応してもらいたい。

被災地域を置き去りにしている国や県の姿勢に憤りを感じました。

地域の為に何が出来るか？何が必要か？をよく考えて行動し、今後の組合活動に繋がっていきたいです。

(C. S)

2019.9.27